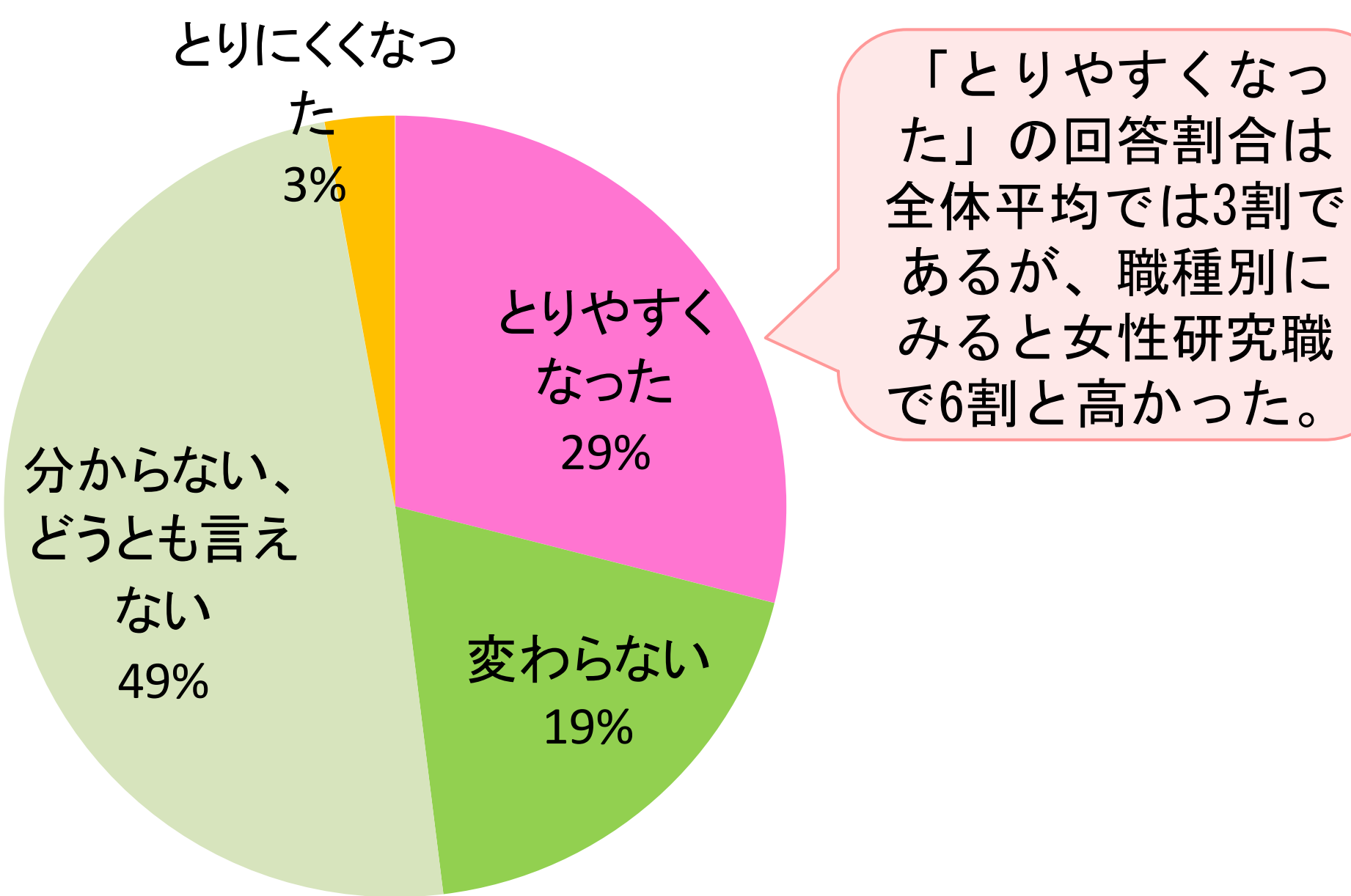


4. 3 仕事と生活の調和について

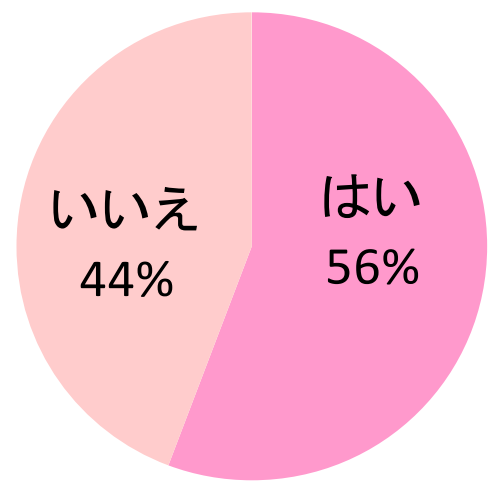
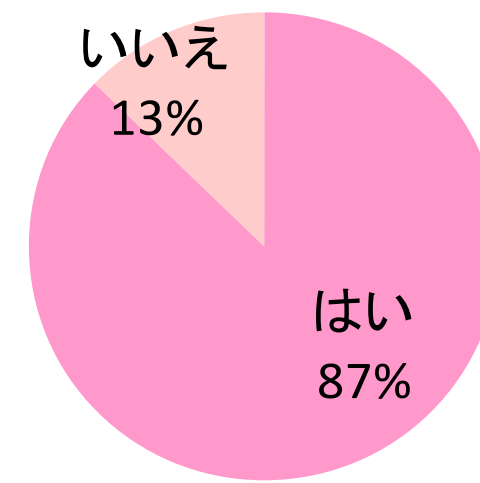
現在は平成18年度以前と比べて仕事と生活の調和をとりやすくなったか



「とりやすくなった」の回答割合は全体平均では3割であるが、職種別に見ると女性研究職で6割と高かった。

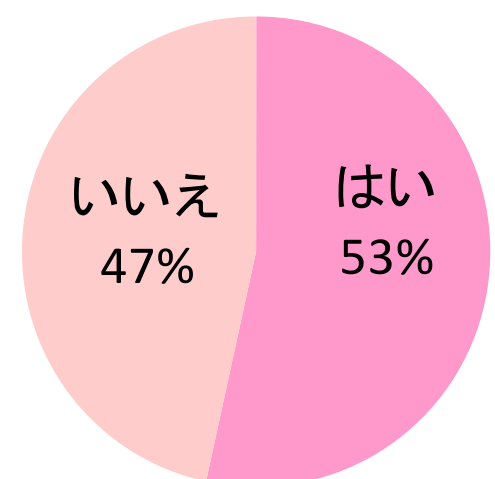
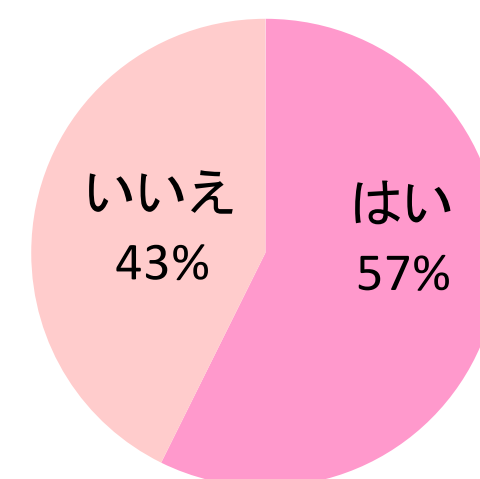
4. 4 保育支援の認知度

どんぐりる一む、すぎのこがあることを知っていますか
 林木育種センター、各支所、各育種場で民間保育施設と契約し、一時預かり保育が行われていることを知っていますか



どんぐりる一む、すぎのこ、民間保育施設を非常勤職員も利用可能であることを知っていますか

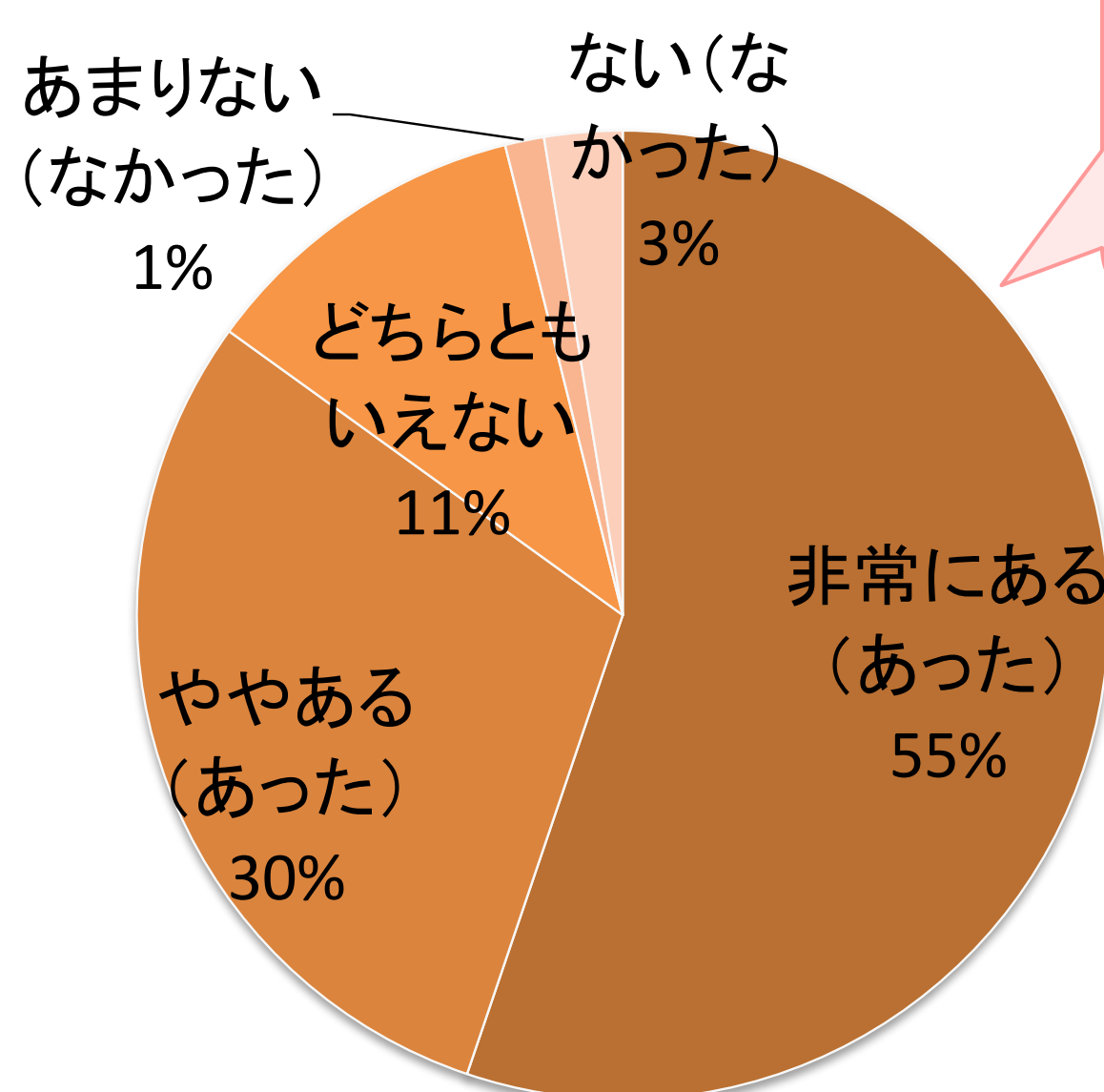
どんぐりる一む、すぎのこ、民間保育施設を出張時にも利用可能であることを知っていますか



どんぐりる一むとすぎのこの認知度は高いが、一時預かり保育の利用条件についての認知度は低い。

4. 5 介護について

仕事と介護の両立に問題や困難があるか(ありそうか)

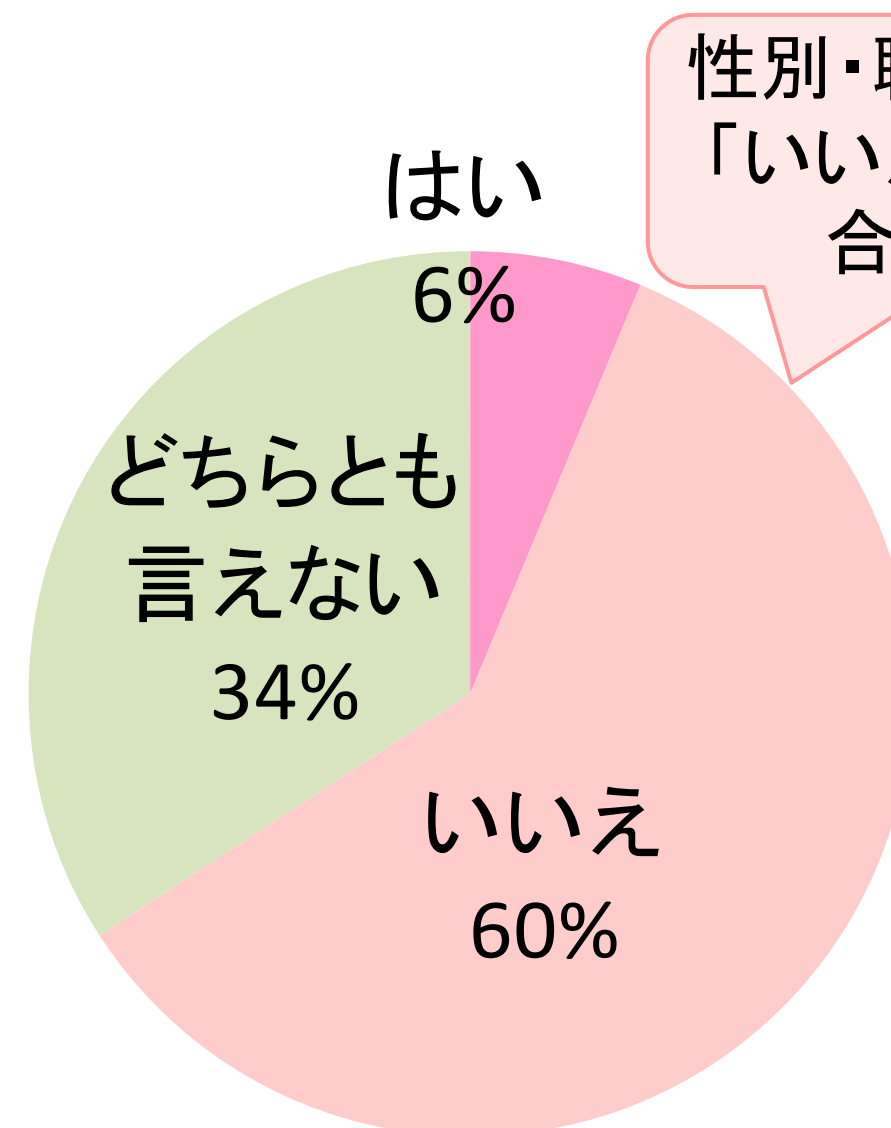


両立に問題や困難があると考える職員が多い。

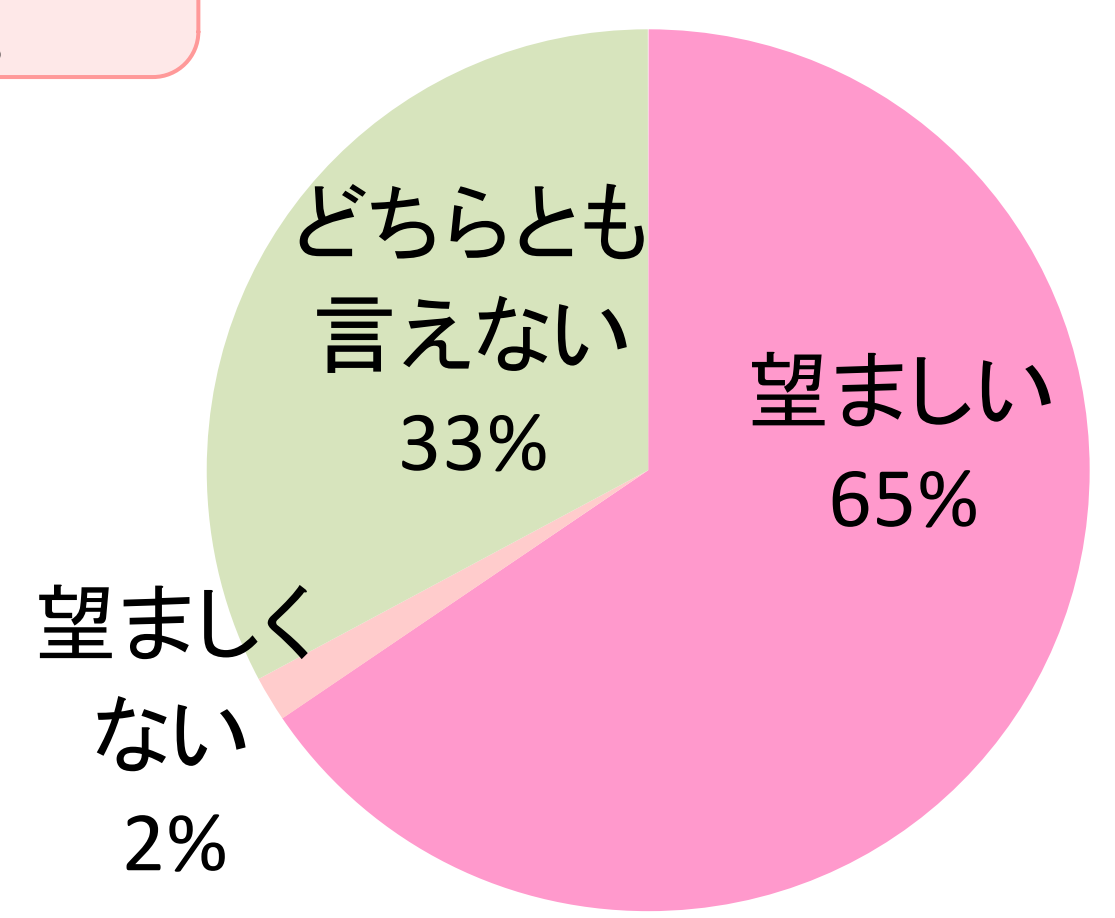
4. 6 キャリア育成

管理職になりたいですか

女性役員や職員が増加し活躍することについてどう思いますか



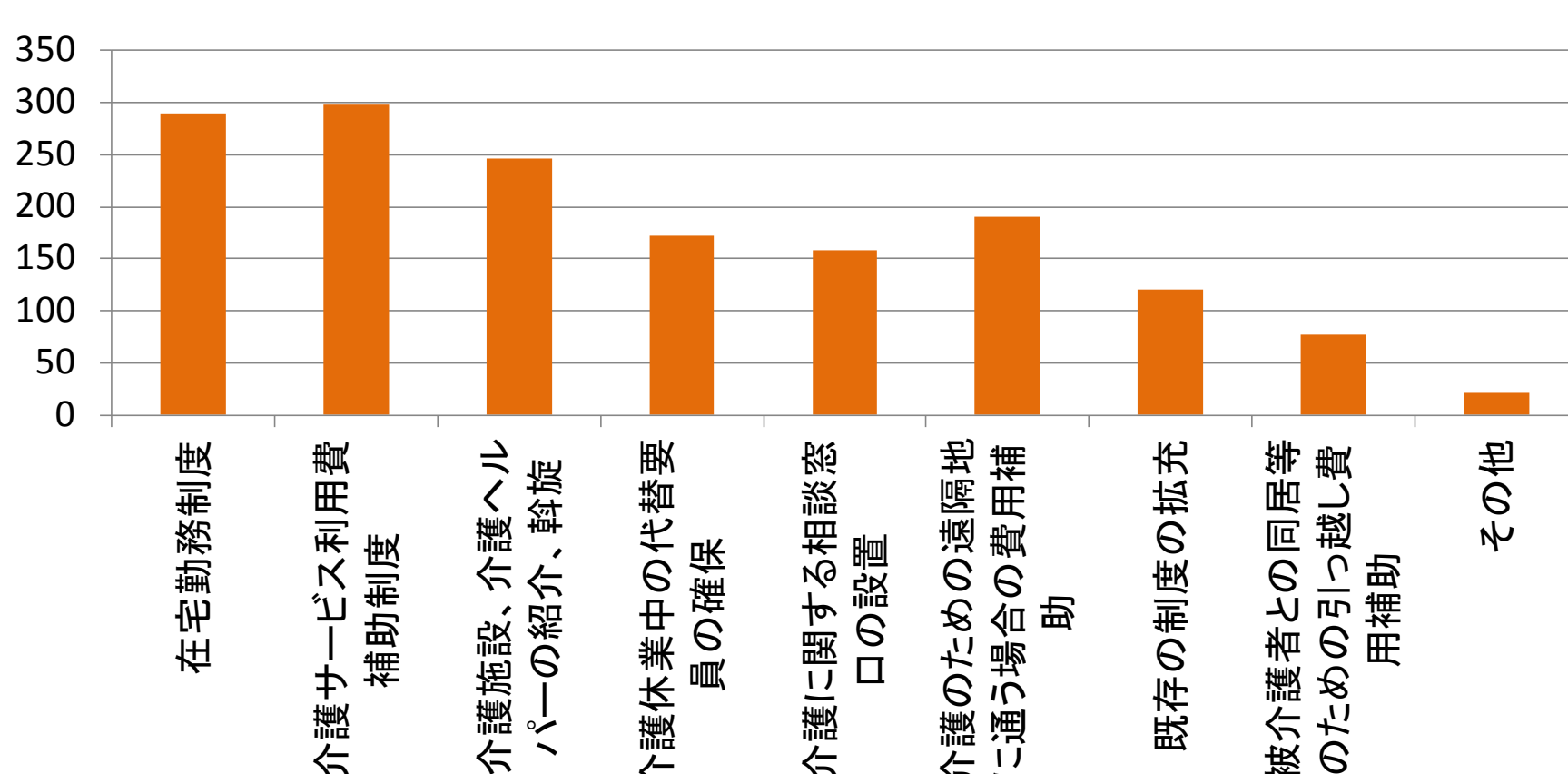
性別・職種を問わず「いいえ」の回答割合が高い。



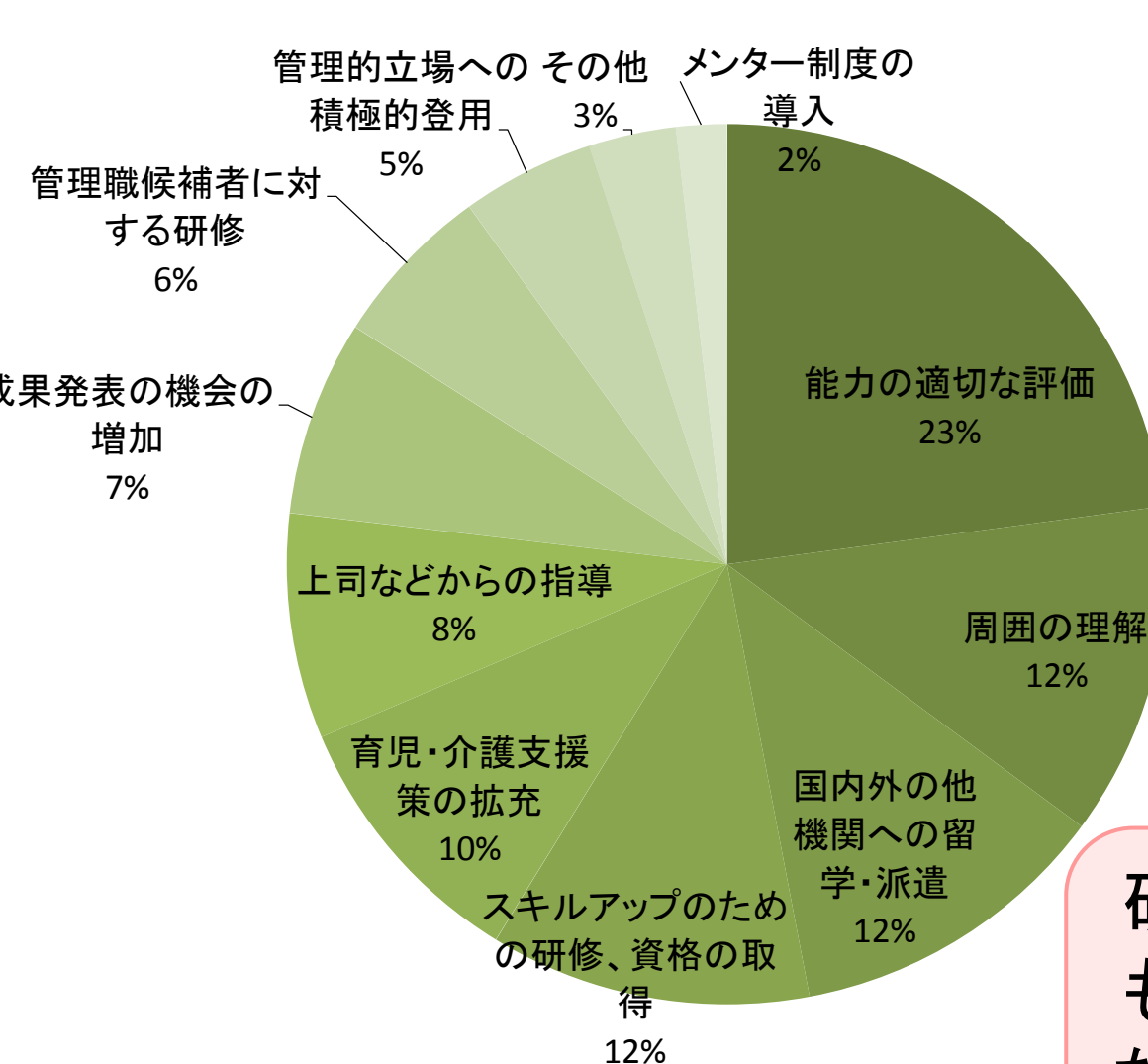
研究職員のキャリア育成に必要な環境、機会はなんでしょうか

事務職員のキャリア育成に必要な環境、機会はなんでしょうか

仕事と介護の両立のために必要と思う支援



独立行政法人森林総合研究所



研究職、事務職ともに、能力の適切な評価が必要との回答割合が高い。

